

各 位

2020年9月18日
株式会社インプレス

AI 時代にも活躍できるマーケターになれる！
新刊『Marketing Python マーケティング・パイソン』9月18日発売
発売を記念して2週間限定で150ページ超を無料公開！

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、プログラミング経験のないビジネスパーソンに向けた実践的なPython入門書『Marketing Python マーケティング・パイソン AI時代マーケターの独習プログラミング入門』を2020年9月18日（金）に発売いたします。刊行を記念して、発売から2週間限定で本書の一部（約170ページ）を無料公開します。

書籍の詳細情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1119101140>Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295008613/>

■AI時代の生き残りにはプログラミングが武器になる！

AI時代の到来が叫ばれるなか、「プログラミングを習得したい」というビジネスパーソンが増えています。数あるプログラミング言語の中でも、ビジネスパーソンに人気が高いのが「Python」です。プログラムコードの読み書きが比較的容易で「ライブラリ」（便利な機能をまとめたプログラム）も豊富なPythonは、プログラミング未経験者でも学びやすいうえ、機械学習の実装時に採用されることも多いことから、AI・機械学習時代に役に立つ言語として、マーケティングなどに携わるビジネスパーソンが習得を目指しています。

本書は、プログラミング経験のないビジネスパーソンに向けた、Pythonプログラミングの入門書です。データサイエンティストでもある著者が、プログラミングに加えてデータ分析の基本も解説しているので、単にプログラミングのみを学ぶのではなく、ビジネスの現場で生かせるPythonデータ分析の基本がしっかり身に付く実践的な1冊です

◇このような人に特におすすめです

- ・文系だけどスキルアップやキャリアアップのためにプログラミングを学びたい人
- ・せっかくPythonを学ぶのなら、すぐに仕事で生かしたいという人
- ・プログラミングだけでなくデータ分析も身に付けたい人
- ・Excelなどのくり返し作業を自動化したい人
- ・感覚的ではなく、理論に基づいたデータ分析を学びたい人
- ・需要予測やWebスクレイピング、ロコミ分析などに組み込みたい人

■実際のビジネスシーンを例にプログラミングを体験

「ビジネスの現場で役に立つPython入門書」をコンセプトに制作された本書は、紙面で制作するプログラムも多くのビジネスパーソンがすぐに自身の仕事で生かせるものになっています。プログラミング未経験者でも、読んだその日からPythonを生かした業務改善に取り組めるのも本書の大きな特徴です。

◇本書で実践するPythonプログラミングの例

- ・パソコンのフォルダー内にある多くのファイルの分類・整理
- ・複数のExcelファイルの必要な個所だけを自動的に抜き出して集計
- ・過去の売り上げや天気などの情報をもとに将来の売り上げを予測（需要予測）
- ・Webサイト上の情報から必要なものだけを自動的に収集してデータにまとめる（スクレイピング）
- ・商品やサービスのロコミ情報を形態素分析して可視化

The image shows two pages from a book. The left page (Chapter 2) discusses using the `shutil` library for file operations. It includes a table of libraries and their functions, and a diagram illustrating the process of creating a file list from a folder. The right page (Chapter 2) shows Python code for listing files in a directory. The code is annotated with callouts explaining each step: importing the `os` library, setting the path, listing the directory, creating an empty list for files, and iterating through the list to append file names. A 'MORE' section at the bottom right discusses whitespace and line breaks in code.

ライブラリ	機能
os	OSに依存したさまざまな機能を利用するためのライブラリ
shutil	ファイルやフォルダーを操作するための機能がまとめられたライブラリ

今回の例題では、これらのライブラリを使ってプログラムを書いていきます。

STEP1 フォルダ内にあるファイルのリストを作成する

フォルダ内のファイルを整理するためには、まずフォルダ内にどんなファイルがあるのかを示すファイルのリストを作成する必要があります。しかし、ここで注意が必要なのは、フォルダの中にはファイルだけでなく、フォルダも含まれている可能性があることです。今回、移動する対象はあくまで「ファイル」のみです。そのため、ここでいう「ファイルのリストを作成する」という処理は、実は少し面倒で、一度フォルダ内にあるすべてのファイルとフォルダの一覧を取得したあとで、その中からファイルだけを抜き出すという処理が必要になります。このことを念頭に置いて、プログラムを追ってみてください。

●図 2-14 ファイルのリストを作成

ファイルだけでなく、フォルダも選んでいる → ファイルだけに絞ったリストを作成する

```
import os
path = './task1/data'
tmp = os.listdir(path)
files = []
for filename in tmp:
    p = path + '/' + filename
    if os.path.isfile(p):
        files.append(filename)
print(files[:10])
```

先ほど作成した「task1_file-ope.py」というファイルを、次のように書き換えてみましょう。

osライブラリのインポート
ファイルとフォルダの一覧を取得
空のリスト files を作成
ファイルを1つずつ調べ、ファイルだけのリストをリスト files に追加

ここではosライブラリを使うので、1行目ではosライブラリをインポートします。3行目以降が、実際にフォルダ内にあるファイルのリストを作成する部分です。3行目では、整理対象となっているフォルダ（dataフォルダ）の相対パスを設定し、それを変数pathに代入しています。ここでは、カレントディレクトリはtutorialフォルダです。このtutorialフォルダを出発点とした場合、整理対象とするフォルダ（dataフォルダ）の場合は、tutorialフォルダ→task1フォルダ→dataフォルダとたどることができます。よって相対パスは、「./task1/data」となります（図2-15）。

MORE
空白（スペース）と空行について
プログラムの実行時は空白や改行、コメント文は削除されてコンピューターに読み込まれます。そのため「x=1」と「x _ = 1」では同じ処理が行われます。空白や空行はプログラム上の意味を持たず、人間がプログラムを読みやすくするための機能なのです。Pythonでは可読性をプログラマーが共有するため、「PEP8」と呼ばれる規約でプログラムの記法を取り決めていきます。
PEP8: <https://pep8.ja.readthedocs.io/ja/latest/>

豊富な図表でプログラムの概要や処理内容もわかりやすく図示し、プログラムコードの意味も1行ずつ丁寧に解説しています。

■発売を記念して書籍の一部を無料公開！

書籍の発売を記念して、本書の冒頭から第3章の半ばまでを期間限定で（9月18日～10月2日）無料公開します。パソコンやスマートフォンなどのWebブラウザで下記URLにアクセスするだけで、書籍の内容を閲覧可能です。事前の登録なども必要ありません。

無料公開URL : <https://impress.tameshiyo.me/9784295008610>

■本書の構成

第1章：プログラミングをマーケターの武器に！

第2章：Pythonで身近な作業の自動化に挑戦

第3章：データをさまざまに分析しよう！

■書籍情報



Marketing Python マーケティング・パイソン AI時代マーケターの独習プログラミング入門 (できるビジネス)

著者：高田朋貴、戸潤幸大、西 惇宏、丹羽悠斗

定価：本体2,400円＋税

電子版価格：2,400円＋税 ※9月発売予定 ※インプレス直販参考価格

発売日：2020年9月18日 (金)

判型：A5判フルカラー

ページ数：296ページ

ISBN：978-4-295-00861-3

◇書籍の詳細情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1119101140>

◇書影ダウンロードページ：<https://dekiru.net/press/500861/>

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295008613/>

■著者プロフィール

高田朋貴 (たかだ ともき) / 株式会社SIGNATE シニアデータサイエンティスト

明治大学大学院卒【博士 (理学)】。2015年4月より株式会社オプトホールディング (現・デジタルホールディングス) のAI研究開発部門に入社。主にAI開発コンペティションの設計・運営のほか、AI関連のコンサルティングやデータサイエンス講座講師等に従事。同部門の事業統合を機にSIGNATEへ参画。現在は、AI人材育成事業の1つである「SIGNATE Quest」のプロダクトマネージャを担当。

戸潤幸大 (とま ゆきひろ) / 株式会社SIGNATE データサイエンティスト

東北大学大学院卒【修士 (理学)】。マーケティングリサーチ会社にて医療・IT業界の調査に従事した後、2018年9月より現職。SIGNATEではAI開発コンペティションの設計・運営のほか、AI教育コンテンツの制作、HR業界や製造業におけるデータ分析・試作開発 (PoC) 案件を担当。

西 惇宏 (にし あつひろ) / 株式会社SIGNATE データサイエンティスト

東京工業大学大学院卒【修士 (理学)】。金融機関向けのシステム開発会社やベンチャー企業にて、システムエンジニアや機械学習エンジニアとして従事した後、2019年6月より現職。SIGNATEではAI開発コンペティションの設計・運営のほか、新規事業の企画、建設業、製造業、運輸業などにおけるデータ分析・試作開発 (PoC) 案件を担当。

丹羽悠斗 (にわ ゆうと) / 株式会社SIGNATE ソフトウェアエンジニア

北陸先端科学技術大学院大学卒【修士 (知識科学)】。2015年4月より株式会社オプトホールディング (現・デジタルホールディングス) のAI研究開発部門に入社。主にコンペティション形式でAIの開発を行うサービス (現SIGNATE) の開発に従事。同部門の事業統合を機にSIGNATEへ参画。現在は、AI人材育成事業の1つである「SIGNATE Quest」のプロジェクトマネージャを担当。

●株式会社SIGNATE

AI開発・運用、AI人材の育成・採用を手がけるDXのトータルソリューションカンパニー。登録会員数35,000人を超える日本最大のData Science Platform「SIGNATE」を運営し、企業や行政が抱えるAI・ビッグデータ活用課題解決に向き合っている。

SIGNATE：<https://signate.jp/>

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証 1 部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：pr-info@impress.co.jp URL：<https://www.impress.co.jp/>